

## メイヨークリニック研修に参加した方々からのレター

### メイヨークリニック体験記

小柳仁見

(地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立総合病院)

#### 1 自己紹介

看護師経験 25 年 手術室が一番長く、その他 E R, 整形外科病棟を経験。現在は年間手術件数が 7500 件ある手術室に勤務しています。

#### 2 なぜ木村財団のメイヨークリニック研修に行こうと思ったか

看護部長から研修募集のお話を頂きました。

以前より興味があった麻酔認定看護師について現状を知りたかったこと、全米で 1, 2 位を争う有名な病院での先進医療について、特に手術室を見てみたかったということが主な理由です。

#### 3 メイヨークリニック研修で学んだこと

##### (1) メイヨークリニックでのある日の研修状況

7:30am-12:00am Observe an Adult Orthopedic Procedure in the Operating Room

整形外科の大腿骨人工骨置換術の手術見学を通して学んだこと

アメリカでは看護師に代わりサージカルテックと呼ばれるテクニシャンが器械出し業務を担当しており医師専属の固定チームで毎回手術が行われていました。手術中は医師の指示を待って器械を手渡すというよりは、手術の進行状況をきちんと把握し自分の判断で必要な器械を提供していました。医師も手渡された器械を躊躇せず使用していて、器械出しの実践能力の高さと双方の信頼関係が成り立っている様子が垣間見えました。手術室を効率良く運営するためには、固定チーム導入は有効な手段だと感じました。

1:00pm-4:00pm Observe and discuss patient care in the Medical/ Surgical/ Transplant Unit

臓器移植後の病棟見学を通して学んだこと

病室にあるホワイトボードには、患者さんの退院に向けての目標が設定されていて、日々更新されていました。医療者だけでなく、患者、患者家族を含めたチ

ーム医療が実践されていたことが私にとっては目新しいことでした。

毎回内服薬については、薬品名、効用を説明指導し、患者さんがいかに理解できたかをフィードバックしてもらい、それをもとに退院後の薬の確実な自己管理に向けての指導が行われていました。

一人の看護師に対しての受け持ち患者が二人ないしは三人ということもあり、時間に追われることがなく、患者さんと関わる時間が長く丁寧な説明指導が行われていた印象を受けました。ここの病棟に限らず、見学した病棟はどこもゆったりとした時間が流れていて、あらためて十分な看護師の配置は入院環境に影響することを実感しました。

## (2) メイヨークリニックで学んだこと

手術室をメインに見学させて頂き、次のようなことを学びました。

- ・各科専門の部屋、医師、科に対する固定チームを導入することにより効率よく手術ができること。
- ・固定チームは、実践能力の強化にもつながること。
- ・PACU (Pre-Post Anesthesia Care Unit) は手術室の効率的運営につながること。
- ・業務は分業化がされていること。
- ・教育体制が充実しており能力試験は質の向上につながること。
- ・チーム医療の中でお互いを信頼し尊重すること。

## (3) メイヨークリニックでの研修期間中、休日は何をしていたか。

ホテル周辺の散策やスーパーマーケット、ショッピングモールに研修生らと一緒に買い物に出掛けたり、アーミッシュツアーにも参加しました。

また、メイヨナーズ主催のミシシッピツアーに参加したほか、メイヨナーズのお宅で開かれた近隣住民を招いた映画鑑賞会に参加して交流を深めたり、陶器の染色体験や食事にも誘って頂きました。

## 4 メイヨークリニックから帰って自分の中で変わったことや所属医療機関への還元

自信と信頼は経験と知識の裏付けからくるものであることをあらためて実感しました。

専門知識を更に深めようと意識するようになりました。新人指導やスタッフにも意識づけするように指導しています。

現在、業務の分業化を検討しているので参考にしたり、物品管理の方法についても、情報提供して取り入れられることの手がかりにして行きたいと考えています。

## 5 英語力をつけるためにどのように勉強したか

毎日ウイークリーを購読していました。

その他に耳を慣らすためにBBCニュースを見たり TOEIC の勉強をあらためてやり直したり、海外にいる友人とのメールのやりとりを通して書く練習もしました。

## 6 メイヨークリニック研修への準備と心構え

自分の研修の目的にそった専門的な英語については理解でき説明できること。日本の現状を聞かれることもあり、研修の目的や何を学びたいかなどは、事前に考えておくといいです。

パソコンは必需品です。パソコンを研修先に持参することはありませんが、院内は Wi-Fi 環境にあるので、ipad があると便利だと思いました。ただし、手術室へのデバイスは持ち込み禁止になっており必ずチェックが入ります。

普段の海外旅行では日本食がなくても全く平気でしたが、今回は緊張と疲れで、研修生から頂いたおにぎりで心が癒されました。体調維持のためにも、日本食を少し持参された方がよいかもしれません。

心構えは、各自が研修場所に行ってひとりで行動するので、積極的に話しかけていくことが必要です。物怖じしていると、あっという間に研修が終わってしまいます。

もしも研修場所が自分の考えていた場所と違っていても、必ず学びはあるので、気持ちを切り替えて柔軟に対応することも大切です。

何にでも興味をもって質問する姿勢は研修の成果につながると思います。